

いわき市では4月から第3子以降無料
県の責任で全ての子どもの

学校給食費無償化を



追加賠償

東電は受付体制強化せよ

いわき市民訴訟

判決を全市民適用へ



宮川えみ子県議



いわき市へ申し入れを行う県議団と市議団、熊谷党地区委員長＝4/4

宮川、吉田両県議はいわき市議団とともに、いわき市教育委員会に対し、3人目以降の無償化は歓迎するものの、すべての子どもの無償化を実現してほしいと申し入れました。無償化や一部補助に踏み出す市町村の努力に応え、県が今こそ無償化の決断をするよう今議会でも求めました。

東電の追加賠償について、コールセンターや相談窓口の混雑が続いていることに対し、体制の抜本的強化と丁寧な対応を求めました。

また、いわき市民訴訟の高裁判決は、東電の責任を認め、国の賠償指針第5次追補の賠償額を上回る支払い額が確定しました。今後、いわき市民全員に原告と同様の賠償金が支払われるよう国・東電に求めていきます。



(写真左)
いわき市民訴訟仙台高裁
＝2022年7月

吉田えいさく県議



県が支援し高齢者等の足の確保を

福島市は、75歳以上のバス代等公共交通の無料化を13年前から行っています。県が全県で同様の支援を行っても県予算の0.1%弱で実施できます。宮川県議は特別委員会でも実施を強く求めました。



(上) 福島市のももりんバスポート。75歳以上の高齢者のバス・飯坂電車が無料です

水害

災害ケースマネジメントを含む県条例制定を河川改修残土の安全対策を

災害が多発する福島県でこそ、被災者1人ひとりに寄り添い支援する「災害ケースマネジメント」を含む基本条例制定を求めました。また、河川改修などで発生する建設残土について、周辺への流出防止や砂ぼこり対策など安全対策を求めました。

一般質問

若者が希望のもてる福島に学費半減・奨学金返還支援の拡充で



大橋沙織県議
6月27日

知事に、若者のUターン・定着促進のため奨学金返還支援を求めました。福島県は、人口流出ワースト3位、独自の対策・施策が必要です。県は5年前から奨学金返還支援制度を実施していますが、年間約1億円弱の予算に対して、利用者は半分にとどまっています。知事は「(現行制度は)産業人材確保のため」と述べましたが、県民・若者本位の制度へと見直すべきです。大学の学費半減等も求めました。

環境「省エネ家電」買い替え補助の再開を

県民から地元の電気店で省エネ家電を買い替えたときに4割増しのポイントが付く補助制度を継続してほしいとの要望が出され、再開を求めました。また、事業者の省エネ設備導入に最大4分の3の補助が付く支援制度も、前回好評で抽選となったため、もれた人も利用できるよう対応を求めました。

教育

県内教員不足数は240人！

昨年より約100人も増え より深刻に



昨年の県内教員不足数が144人で東北最大でしたが、今年は240人と更に100人近く増加しました。県や国の加配分は非正規の講師で充当しており、その講師が不足しているのです。県は、正規教員を増やすための国の標準法見直しを待つのではなく、県独自の対策として正規教員を増やすべきです。

インボイス中止

最賃引上げ

ジェンダー平等

県民の願い 他党が否決！



討論する宮本しづえ県議
7月5日

トラブルだらけのマイナ保険証中止、インボイス中止、全国一律最低賃金を1,500円に、物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げ、女性差別撤廃条約選択議定書採択等を求め討論しましたが、他党の反対で否決されました。一方、汚染水海洋放出問題、原発推進のGX法、学校給食費無償化等、国にモノ言う議案は、いずれも他党が継続審査扱いとしました。

自民党は世論に押され、高等教育補助、最賃引き上げを盛りこんだ若者経済支援を求める意見書を提出、全会一致で可決されましたが、同趣旨の共産党提案は反対または継続としました。

意見書・請願	提出	共産	県民	自民	公明	可否
健康保険証の廃止撤回を求める意見書	共産	○	×	×	×	否決
インボイス制度の実施延期を求める意見書	〃	○	×	×	×	〃
最低賃金引上げと早期発効を求める意見書	県民	○	○	×	×	〃
生活保護基準引上げと物価対策給付金支給を求める意見書	共産	○	×	×	×	〃
女性差別撤廃条約選択議定書批准を求める意見書	〃	○	×	×	×	〃
ALPS処理水「関係者の理解なしに処分しない」との約束履行を求める意見書	〃	○	△	△	△	継続
GX法いわゆる原発推進等5法の廃止を求める意見書	〃	○	△	△	△	〃
学校給食費無償化の実施を求める意見書	〃	○	△	△	△	〃
学費半減・奨学金返済の負担軽減を求める請願	〃	○	△	△	△	〃
パートナーシップ条例の制定を求める請願	〃	○	△	△	△	〃

ご要望や困りごと、相談ごとはお気軽にお寄せください。

TEL 024-521-7618
FAX 024-523-3256

◆2月県政報告中面の市町村出産祝い金は、県当局の資料に基づき作成したのですが、一部誤りがありましたこと、お詫びいたします。



神山悦子県議
(郡山市)



宮川えみ子県議
(いわき市)



宮本しづえ県議
(福島市)



吉田英策県議
(いわき市)



大橋沙織県議
(伊達市・郡)